

WCS用イネは細断により バンカーサイロで調製できる



33mmで細断のWCS



バンカーサイロへの詰込



ショベルローダーでの鎮圧

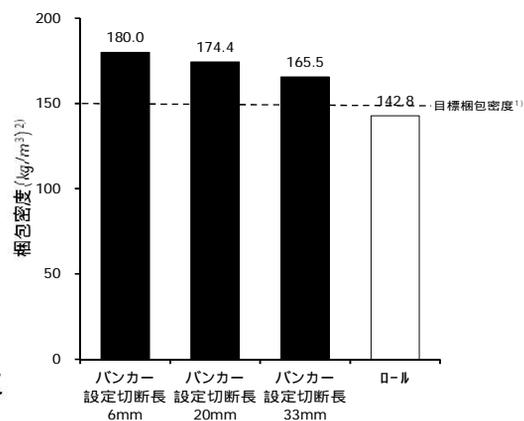


図1 イネWCSの梱包密度

1) 目標梱包密度150kg/m³: 稲発酵粗飼料生産・給与マニュアルより
2) バンカーの梱包密度は詰込んだWCS用イネの重量とバンカーサイロの体積の実測値から算出した

写真1 作業の様子

問 研究のねらいは？

答 WCS用イネは、モアやロールベラー等の牧草収穫機械や専用収穫機を用いたロール体系でサイレージ調製が行われていますが、天候やほ場の状態により作業効率やサイレージの品質が大きく左右されます。そこで効率的なWCS用イネの調製技術として、バンカーサイロで調製する方法を明らかにしました。

問 優れている点は？

- 答 ① 専用収穫機による細断型ロール体系と比較し、作業時間を約16%削減できます。
- ② WCS用イネの切断長が短い程、バンカーサイロ内の梱包密度は高く、良好な発酵品質が得られます。
- ③ WCS用イネの切断長が33mmまでであれば、10ヶ月程度の長期保管が可能です。

問 普及するうえで注意する点は？

- 答 ① 効率的な作業のため、1筆あたりのほ場面積が広く、ほ場からバンカーサイロまでの距離が近いことが望ましいです。また、WCS用イネを運搬するトラックの台数は検討しておきましょう。
- ② 切断長が短いことから単味での給与を避け、TMRでの給与を推奨します。また、TMRの設計は飼料の物理性を考慮した設計が必要です。